

東京港各コンテナターミナルにおける 海上コンテナ車両待機時間調査(第23回)について

1. 調査実施主体

一般社団法人 東京都トラック協会 海上コンテナ専門部会

2. 調査方法

東京都・神奈川県・茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・山梨県の各トラック協会 海上コンテナ部会に所属する事業者のうち26店社を対象として、東京港でコンテナ搬出入業務を行う頻度の高い車両を1店社あたり5台を目途に選定し、各コンテナターミナルにおける、調査実施期間の並び始めとゲートアウト時刻のデータを所定の入力表により提出する方法で行った。

3. 調査実施期間

令和5年12月1日(金)から令和5年12月22日(金)まで

4. 調査対象

東京港における下記の各コンテナターミナル(カッコ内はターミナルオペレーター)

<青海ふ頭>

青海A-1コンテナターミナル(山九/伊勢湾海運)

青海A-2コンテナターミナル(住友倉庫/日本通運/第一港運)

青海A-4コンテナターミナル(鈴江コーポレーション)

<中央防波堤外側ふ頭>

中央防波堤外側コンテナターミナルY1(上組)

中央防波堤外側コンテナターミナルY2(三井倉庫/日本通運/住友倉庫/山九)

<大井ふ頭>

大井2号コンテナターミナル(ダイトコーポレーション)

大井4号コンテナターミナル(宇徳)

大井5号コンテナターミナル(東海運)

大井7号コンテナターミナル(ユニエックスNCT)

<品川ふ頭>

品川コンテナターミナル(東海運)

品川コンテナターミナル(住友倉庫)

品川コンテナターミナル(第一港運)

※岸壁を持たないコンテナターミナル及びバンプールは本調査の対象から除外。

5. 公表データ

(1) 「コンテナターミナル別 待機時間分布グラフ」

調査実施期間中の全データをコンテナターミナルごとに日付別に集計し、待機時間を基準に作業内容（空コンテナ搬出・実入りコンテナ搬入・実入りコンテナ搬出・空コンテナ搬入）を積み上げ棒グラフで表したものの。

※各ターミナルの最大待機時間を基準とするため、グラフ横軸の値はそれぞれ異なる。

※本グラフについては、コンテナ1本あたりの待機時間を表したものとし、2本を扱う「降ろし取り」については、反映していない。

(2) 「コンテナターミナル別 平均待機時間一覧」

並び始めからゲートアウトまでの平均待機時間をコンテナターミナル別に取りまとめたもの。

※「降ろし取り」は、輸出・輸入及び、実入り・空の区別はしていない。

（「降ろし取り」＝1回のターミナルへの入場につき、搬入→搬出の2本の作業を行うこと。）

(3) 「並び始め」の時間について

7：30以前の並び始めのデータは、一律7：30並び始めとして、集計。

（真夜中など、ゲートオープンよりもかなり早い時間からの並び始めのデータが存在し、調査結果に与える影響を考慮するため。）

6. 留意事項

(1) グラフ及び一覧表について

①グラフの注釈にある95%の範囲は統計上、「平均待機時間 ± 標準偏差 × 1.96」の範囲で、最小値を最小待機時間としている。

（「およそ」の待機時間の表記について）

②一覧表の平均待機時間の箇所は、それぞれの時間に応じて、下記の通り、色分けしている。

緑 色：30分未満

黄 色：30分以上1時間未満

オレンジ色：1時間以上2時間未満

赤 色：2時間以上

<本件に関するお問い合わせ先>

(一社)東京都トラック協会 業務部 教育研修・輸送グループ 齋藤

TEL：03-3359-3401